

# 元気を出そう！ 勇気を出そう！ 頑張っぺ！

## Part 3

2011.3.29

須賀川地区会長 渡辺徳之

この度の東日本大震災においては、大変な状況におかれている方も少なくないと思います。被災された会員の皆様、会員企業、ご家族と社員の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

この大震災を受け、中小企業からの資金繰り相談が各金融機関や商工会議所等に殺到しています。被災地での給与支払いに困る企業や手形不渡りに対してなど、あまりにも遅い金融政策に先の見えない不安感が広がっています。政府からは支援策を矢継ぎ早に打ち出しているが、被害が多すぎて金融機関そのものが機能していない。全ての手続きに罹災証明などが必要とされるが、建物そのものに被害が無い場合、その証明まで受けられない。また、信用保証協会付きの融資枠もあるが、協会そのものも審査の基準が無い。など、政府の金融政策と地元の金融機関の連携がなされていないのが現状です。

私の方で知り得た状況をお知らせします。

月末が迫っていますので、資金が必要な会員企業もあると思います(私自身も緊急課題です)国の救済政策の発表もありますが、金融機関も前例がないためどのような対応をして良いのか判断が付かないそうです。審査が出来ないとの事です。各金融機関に救済資金そのものは入ってきているようです。メインバンクと相談しながら、情報を整理して、慎重に行動して下さい。また、借入などの際に必要な書類(各種証明書)は、手元に用意しておくのも時間短縮に役に立つと思われます。

既存取引(借入金)がある企業は、むやみに返済猶予や取引条件を変更した場合、後の新たな制度資金を使用する際に不利になる恐れがある、との事です。

金融機関の方も、日々の対応で、昨日の情報が今日の情報となり得ない場合があります。レコーダーや文字で相談内容とその返答を記録し、その都度確認作業を怠らないようにしましょう。

## 社員の不安を一つでも取り除こう！

社員とその家族の健康状態を把握し、ライフラインが完全に復旧していない場合、その復旧まで経営者を中心に社員全体での助け合いをしましょう。さらには、燃料等の問題で、まだまだ物資が行き届いていない社員もいます。何か不足している物、困っているものがあれば、情報を集約し助け合いましょう。ちなみに、今週中には弊社営業が関東圏に入るので、困っている物資があれば購入してきますので、遠慮なく相談して下さい。

また、給与や今後の仕事の保証など、我々経営者以上に不安に思っている社員も少なくありません。早めに給与支払いに対しての安心感を・・・保障出来ない場合、「中小企業緊急雇用安定助成金」(ハローワークへの早めの相談を進めます。手続きがかなり面倒です。)などの社員の生活の安定への情報を提示しましょう。

## ハローワークへ相談に行ってきました

必要書類が、かなりあります。また、今月分の給与の支払い方で、その後に受ける助成の内容が変わります。社会保険労務士や会計事務所などのアドバイスを受けながら進める事をお勧めします。

### 今後の再生計画について

金融機関や助成金、そして得意先・仕入先から、今後の計画を尋ねられる事が多くなります。しかしながら、この震災の中では、年間計画どころか半年計画、月計画、週計画、明日の事など考えられない状況もあると思います。

まず、それぞれにあの震災で被害を被った状況の把握（建物や製造ラインへの直接的被害・燃料不足での物流や人的確保の困難など）  
そこから発生する様々な影響・問題（物流のストップによる物資不足・資金不足など）

次に、この2週間でどれだけ復旧し、どれだけのを出来るかを得意先や仕入先に発信していきましょう。

半年後の不安で何も出来ないより、今日出来る一步を必ず踏み出しましょう。

**自分の一步が必ず誰かの助けになります！！**